

TOSHIBA 東芝換気扇応用部材取付・取扱説明書

給排気グリル（風量調節形）


・DV-05KK₁タイプ・DV-1KK₁タイプ

給気グリル（風量調節形・フィルター付）・DV-1KKF₁タイプ

- このたびは給排気グリルあるいは給気グリルをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。ごぞいます。
- お求めの給排気グリルあるいは給気グリルを正しく取り付け、取り扱っていただくために、この取付・取扱説明書をよくお読みください。
- この取付・取扱説明書は工事完了後、お客様にお渡しください。

安全上のご注意


- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表 示 の 意 味
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が* ¹ 傷害を負うことが想定されるか、または* ² 物的損害の発生が想定されること”を示します。

*¹傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。

*²物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 確実に取り付ける	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は、「確実に取り付ける」を示します。

注意

取り付け、お手入れの際は必ず手袋を着用する

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。



手袋をする

十分強度のあるところを選んで確実に取り付ける

落下により、けがをすることがあります。



確実に取り付ける

パネルや部品は確実に取り付ける

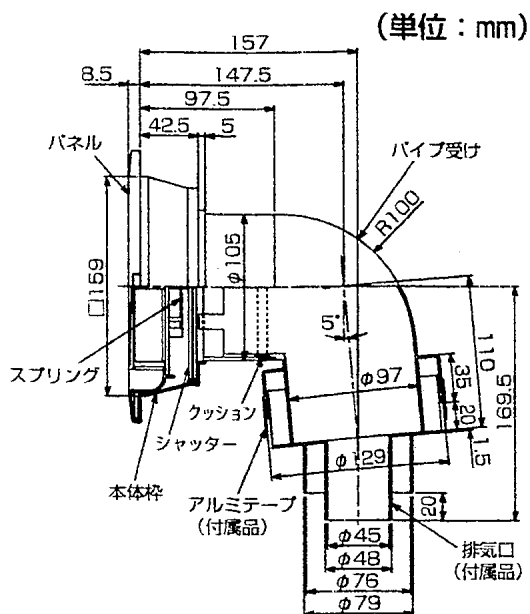
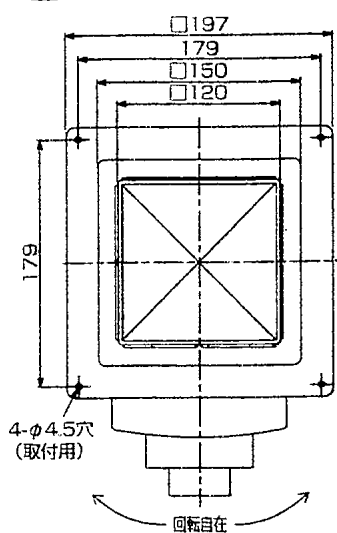
落下により、けがをすることがあります。



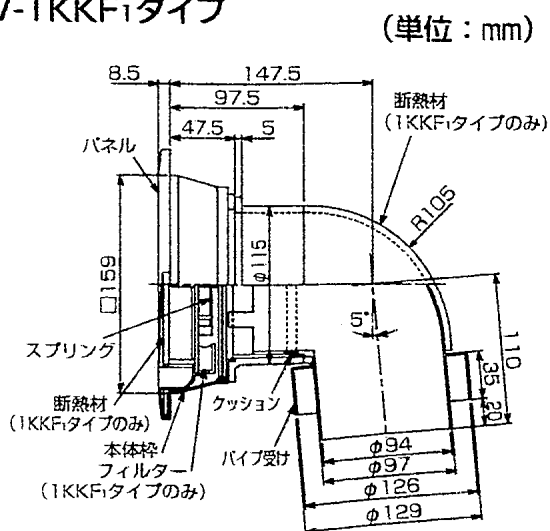
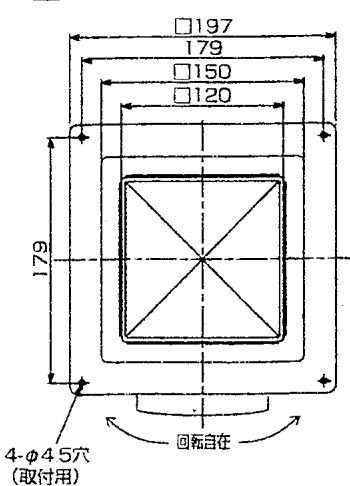
確実に取り付ける

部品の名前と寸法

■DV-05KK₁タイプ



■DV-1KK₁タイプ、DV-1KKF₁タイプ



付属部品

取り付けの前に付属部品の確認をしてください。

■DV-05KK₁タイプ

- 排気口 1個
- アルミテープ 1個
- 取付ねじ (φ4.2×30L) 4本

■DV-1KK₁タイプ、DV-1KKF₁タイプ

- 取付ねじ (φ4.2×30L) 4本

適用パイプ

■DV-05KK₁タイプ

φ50フレキシブルダクト、断熱ダクト等
(塩ビパイプ、メタルパイプは使用できません)

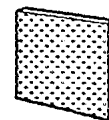
■DV-1KK₁タイプ、DV-1KKF₁タイプ

φ100フレキシブルダクト、断熱ダクト等
(塩ビパイプ、メタルパイプは使用できません)

別売部品

■交換用清浄フィルター (DV-1KKF₁タイプ用)

F-1KK

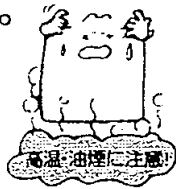


取り付けかた

つぎのことをお守りください。※取付工事前に製品に変形など異常がないか確認してください。

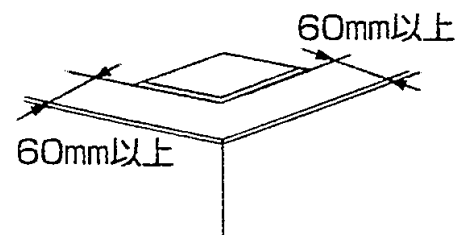
- 高温(40℃以上)になる場所、油煙の多い場所、腐食性ガスの発生する場所に取り付けないでください。

プラスチック部品が変形することがあります。



- 壁からの距離を守ってください。

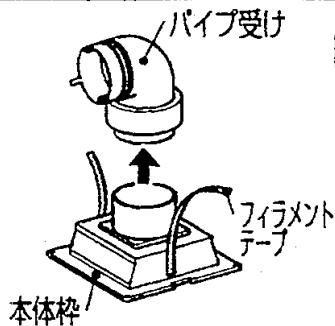
パネルの取り付け、取りはずしができなくなります。



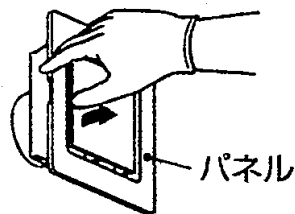
- スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用)をかけないでください。プラスチック部品が変形することがあります。

取り付ける前に

1. フィラメントテープ(2カ所)をはがし、本体枠よりパイプ受けをはずします。

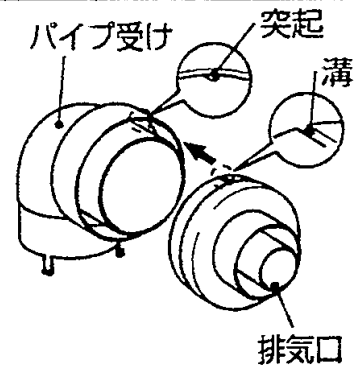


2. パネルをはずします。パネルの手掛部を持ってはずします。

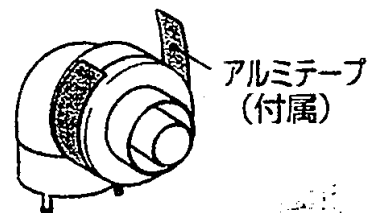


■DV-05KK1タイプのみ

3. パイプ受けのダクト接続部内側の突起に排気口外側の溝を合わせ、排気口を挿入します。



4. 付属のアルミテープでパイプ受けと排気口を固定します。



取り付けかた

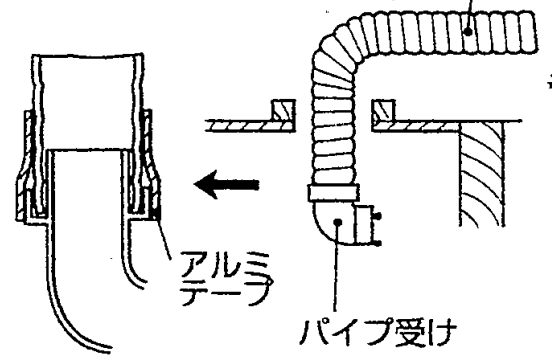
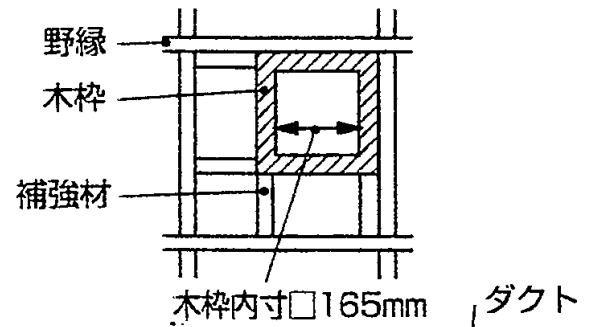
1. 木枠をつくり野縁に固定します。

木枠内寸 □165mm

2. 木枠内寸に合わせて、天井板に穴をあけます。

3. フレキシブルダクト等とパイプ受けあるいは排気口を接続します。

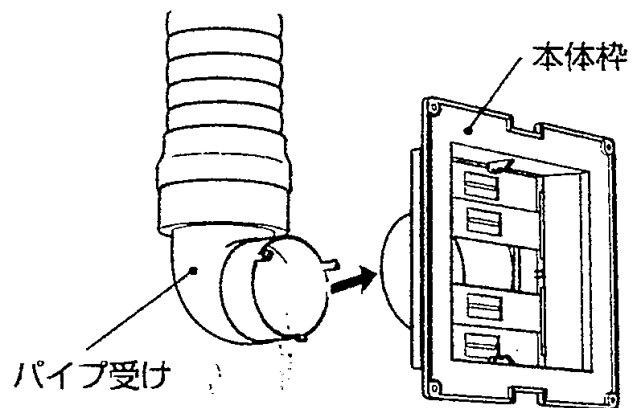
天井穴よりフレキシブルダクト等を引き出し、パイプ受けあるいは排気口のダクト接続部に奥までしっかりと挿入し、アルミテープ等で固定します。



4. 本体枠をパイプ受けに取り付けます。

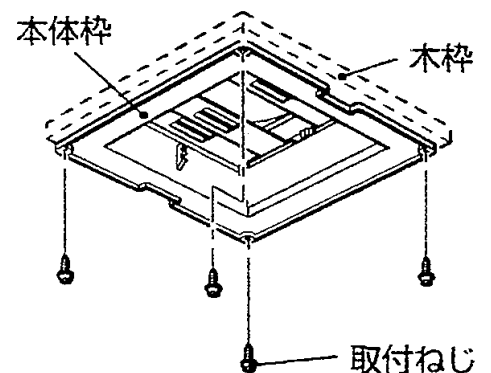
本体枠の筒部にパイプ受けをカチッと音がるまで挿入します。

挿入後パイプ受けを引っ張りはずれないか確認し、はずれる場合はやり直してください。



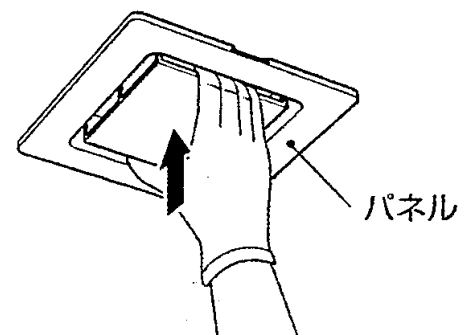
5. 本体枠を付属の取付ねじで木枠に固定します。

フレキシブルダクト等を押込みながら本体枠を天井穴に挿入し、付属の取付ねじ4本で固定します。



6. パネルを取り付けます。

パネルの手掛部を本体枠の凹部に合わせ、カチッと音がるまでパネルを押し付けます。



お願い

シャッターが全開になっていることを確認してください。

使いかた (風量調節のしかた)

お願い

- 外気温度が低いときや室内湿度が高いときは、本体の表面や内部に結露が発生することがありますので、布などでふきとってください。
- 台風などで外風の侵入がはげしいときはシャッターをとじてください。その後は、必ずシャッターをもとにもどしてください。

■ 風量調節のしかた

シャッターは通常全開で使用します。給気量が多くて寒いときなどに調節してください。

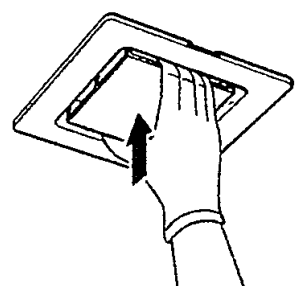
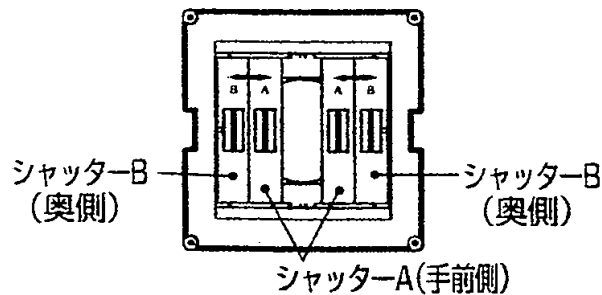
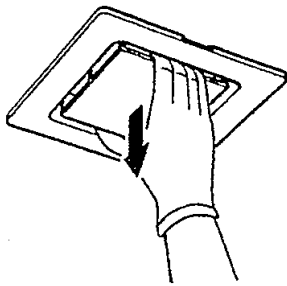
1. パネルをはずします。 2. 風量調節をします。 3. パネルを取り付けます。

パネルの溝部を持ってはずします。

パネルを落下させないようにご注意ください。

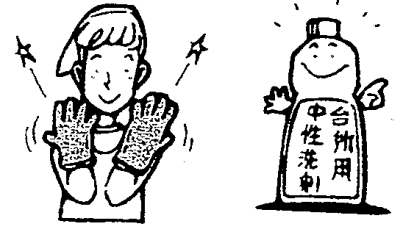
シャッターA、Bがあります。それぞれの突起部を持ってスライドさせ、開口面積を調節します。

パネルの手掛部を本体の枠の凹部に合わせ、カチッと音がするまでパネルを押し付けます。



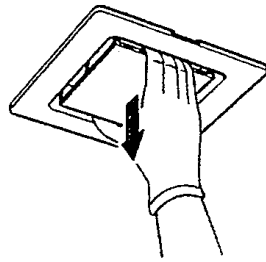
■お手入れの前に

- 手袋をご使用ください。
- 中性洗剤をご使用ください。化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー・アルコール・ベンジン・灯油・ガソリン・みがき粉・アルカリ洗剤は使わないでください。
- タワシなど固いものを使用しないでください。
- お手入れの際にはほこりなどが落ちることがあります。床に新聞紙等をひくことをおすすめします。



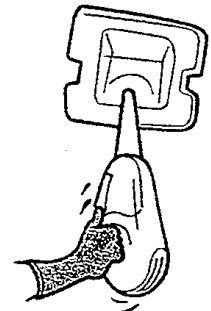
パネルのお手入れ

1. パネルをはずします。
パネルの溝部を持ってはずします。
パネルを落下させないようご注意ください。



本体のお手入れ

1. ほこりをクリーナーで吸い取ります。

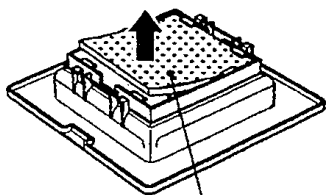


2. 中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。
洗剤が残らないよう、水でしぼった布でふきとります。

2. 本体は取り付けのまま中性洗剤溶液に浸した布をしぼって汚れをふきとります。
洗剤が残らないよう、水でしぼった布でふきとります。

フィルターのお手入れ ※6ヵ月に1回以上

1. パネル内側のフィルターをはずします。

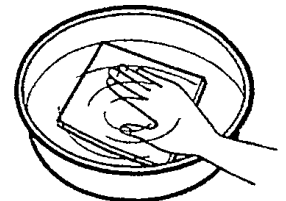


フィルター

2. フィルターは掃除機でホコリを吸い取ります。汚れのひどいときは、水かぬるま湯に中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水などで洗剤を流してから、十分に乾燥させます。

熱湯で洗ったり、もみ洗いや力を加えて曲げることは絶対にしないでください。

3. 乾燥したフィルターを元どおりパネル内側にセットします。
8カ所のフィルター押えに確実にめ込んでください。



■お手入れが終わったら

- パネルを元どおりに取り付けます。
パネルを軽く引っぱって、簡単にはずれないか確認し、はずれる場合はやり直してください。取り付けが不完全ですと落下することがあります。

